

認知症介護指導者の紹介について

□ 認知症介護指導者とは

認知症介護指導者とは、認知症介護実践リーダー研修修了等の一定の要件を満たし、かつ、認知症介護指導者養成研修を修了した方をいいます。

認知症介護指導者養成研修は、認知症介護基礎研修及び認知症介護実践研修を企画・立案し、講義、演習、実習を担当することができる能力を身につけるとともに、介護保険施設・事業者等における介護の質の改善について指導できる者を養成することを目的とした研修です。

北海道では、認知症介護研究・研修仙台センターに、認知症介護指導者養成研修を委託して、認知症介護指導者を養成しています。

□ 認知症介護指導者の役割

- ① 認知症介護基礎研修又認知症介護実践研修等を企画・立案し、講義等の講師を担当する。
- ② 地域包括支援センターや介護保険施設・事業者等からの相談等に対するアドバイザー役となるほか、認知症支援関係機関間の連携づくりへの協力を行う。
- ③ 地域包括支援センターや介護保険施設・事業者等への指導、相談の活動事例や道内外における先駆的な介護実践事例等の情報収集への協力を行う。

□ 北海道認知症介護指導者名簿

道内（札幌市を除く）の認知症介護指導者のうち、市町村、地域包括支援センター、介護保険施設・事業者等からの、研修講師や認知症介護に関する相談、介護現場の職員に対する指導・助言等を行うこととして、道のホームページでの公表に同意された方々を別紙のとおり掲載しています。

※札幌市も認知症介護指導者を養成しています。

札幌市の認知症介護指導者名簿は、札幌市のホームページからご確認願います。

□ 認知症介護指導者への相談等

認知症介護指導者の勤務業態等は、それぞれの方々の勤務事業所等によっても異なりますので、個々の相談等は、直接、認知症介護指導者へお問い合わせのうえ確認して下さい。